

平成 30年 10月 23日



全国健康保険協会 沖縄支部

協会けんぽ

<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

協会けんぽ(全国健康保険協会)とは、主に中小企業の従業員とその家族が加入する健康保険です。平成20年に政府管掌健康保険を引き継いで設立されました。全国で約3,800万人、うち沖縄支部では約57万人が加入しています。

**那覇市・浦添市・東京大学大学院と共同で行った「妊婦栄養調査」の
分析結果について、プレス発表を11月1日(木)に行います
～ プレス発表後に「生まれてくる子の未来の健康を考えるシンポジウム」を開催 ～**

低体重児出生の多い沖縄県内の母子保健上の課題の発見及び対応する施策の発展に向けた知見を得ることを目的とし、協会けんぽ沖縄支部では、那覇市・浦添市・東京大学大学院と共同で妊婦の栄養状況調査を行い、出生児の身体状況のデータとあわせて分析を行いました。今回分析結果として、調査対象者の栄養摂取状況や妊娠経過・身体・生活習慣と児の出生データとの関連などについて発表いたします。

・調査対象者:2,162人

・方法 : 那覇市、浦添市の窓口へ妊娠届の提出に訪れた妊娠中の女性で同意を得られた方に1か月前までの食事内容や生活習慣に関する質問票に回答してもらい、那覇市・浦添市よりご提供いただいた出生児の身体状況のデータとあわせて東京大学大学院へ分析を依頼。

下記の日時に行われるプレス発表では、東京大学大学院教授 佐々木 敏 氏と、当時調査研究に携わった沖縄県出身の東邦大学講師 上地 賢 氏も出席され、補足説明や質疑応答、取材対応などをして下さる予定です。

また、同じ会場でプレス発表後に行われる「生まれてくる子の未来の健康を考えるシンポジウム」では、調査分析の概要報告のほか、東京大学大学院教授 佐々木 敏 氏による基調講演、関係機関等より選出された各シンポジストによる意見発表を行います。前日の10月31日(水)には沖縄県自治会館にて東邦大学講師 上地 賢 氏による保健師・管理栄養士に向けた研修会(別紙2参照)も行われます。こちらもあわせてぜひ各種報道等で取り上げていただき、広く県民に周知していただきますようお願いいたします。

記

1. 「妊婦栄養調査」分析結果プレス発表
2. 「生まれてくる子の未来の健康を考えるシンポジウム」

日時 : 平成 30年 11月 1日(木)

プレス発表 13:20 ~ 13:50 シンポジウム 14:00 ~ 16:00

場所 : パレット市民劇場 (プレス発表は劇場ロビー)

【添付資料】

- ・別紙1 「生まれてくる子の未来の健康を考えるシンポジウム」チラシ
- ・別紙2 妊婦の栄養調査及び出生児の身体状況調査に係る研修会の開催について

【お問い合わせ先】

〒900-8512 那覇市旭町 114-4 おきでんビル 8階
全国健康保険協会沖縄支部 担当: 企画総務グループ 宮里
TEL:098-951-2246 FAX:098-951-2295